

専門家派遣事業～派遣先のブルネイで大きな反響～

日本の自治体には様々な分野において、優秀な技術と豊富な知識を有する人材が多数在籍しています。こうした人材を専門家として派遣し、海外の現地における技術力の向上や人材の育成に寄与している専門家派遣事業ですが、今回、ブルネイ内務省の要請により専門家を派遣したところ、大きな反響が寄せられましたので紹介いたします。

< 派遣内容 >

派遣先：ブルネイ・ダルサラーム国
ブルネイ内務省地方局
派遣分野：農業、商業、その他
指導内容：地域特産品開発（一村一品）
専門家：大分県商工労働部
産業科学技術センター食品産業担当
主幹研究員 朝来 壮一
派遣期間：平成22年12月11日～12月23日
(13日間)



< 指導の様子 >

朝来氏は、国内全地区の村を視察し、住民の方々と対話しながら課題の解決に向けた助言等を行いました。住民は皆熱心に質問しアドバイスをもらいつつ、「輸出できるか」と訊くなど、一村一品への関心の高さが窺われました。

また、ある村では米の作り方を教えて欲しいという要望まで受けましたが、朝来氏は農業試験場勤務の経験もあったことから可能な限りの助言を行いました。

< 現地の反応 >

派遣期間中、指導の内容が国営テレビで放映、新聞で連日報道されるなど、現地メディアに大きく取り扱われました。

『国営テレビ RTB ではトップニュースで報じられていたなど、メディアの取り上げ方の大きさは本事業をいかに重視しているかの現れ。マレー語の放送は内務大臣から国王への報告と言えるもの。国王は本事業を大変重視しており、年度末には国王が臨席する一村一品の表彰式も開催されている』(在ブルネイ日本国大使館 広瀬大使談)

< クレア活用のススメ - 日本の自治体の知恵をグローバルに - >

本件は、日本の自治体の人材への期待、日本の知識・技術が高く評価されている証の一つと言えます。ブルネイは、天然ガスをはじめとする(天然)資源が豊富なためシンガポールや日本と同じような生活水準にあります。貿易では日本との関係も少なくありません。そのブルネイで、これだけの注目を集めました。今回の件は、アセアン諸国での日本の自治体の存在の示し方の一つのヒントになるのではないのでしょうか。

自治体国際協力専門家派遣事業の詳細はこちら

<http://www.clair.or.jp/j/sien/special.html>